

(続紙 1)

京都大学	博士 (地域研究)	氏名	牛久 晴香
論文題目	ガーナ農村における地場産業の形成と発展に関する研究 ーボルガ・バスケットの事例ー		
(論文内容の要旨)			
<p>本論文は、ガーナ北東部のボルガ・バスケット産業がいかんして形成され、発展してきたのかを分析することをつうじて、ガーナの小農社会がグローバルな消費市場にいかなるかたちで接続してきたのかを明らかにすることを目的としている。</p> <p>第1章では、本研究の背景と目的を示した。先行研究においては「グローバル」と「ローカル」をそれぞれ一枚岩的な存在としてとらえ、ローカルな社会はグローバルな市場に包摂されるか自律を維持するかという二律背反的な議論に終始する傾向があった。それに対して本論文では、人びとの輸出用バスケット生産へのたずさわり方や、取引の具体的な進め方に着目して、複数化する「グローバルな消費市場」と多様な人びとの織りなす「ローカルな生産地社会」の接合の実態を実証的に解明することを目的とした。</p> <p>第2章では、調査地の概要を示した。熱帯雨林地帯で植民地期に産業が発展したガーナ南部地域と、サバンナ地帯で産業が発展しなかった北部地域とでは生態的、社会文化的、経済的な差異があることを紹介し、ついで極北に位置するボルガタンガ地方の農村世帯は、農業やボルガ・バスケット生産、南部への出稼ぎなどを組み合わせながら生計を営んでいることを示した。</p> <p>第3章では、国家政策・援助事業ならびに国外組織が、バスケット産業の形成と発展にいかなるかたちで関係してきたのかを検討した。ボルガタンガ地方の貧困状況の改善をめざした開発援助機関と、このバスケットに欧米市場での商品価値を見出し輸出を続けてきた国外の民間企業とが、ボルガ・バスケット産業の形成に大いに貢献してきたことをあきらかにした。また、現在は、欧米や日本を中心としたファッション市場やフェアトレード市場など、求める商品の性質が異なる複数の市場にまたがって、ボルガ・バスケットはひろく流通する商品となっていることを示した。</p> <p>第4章では、ボルガ・バスケットの技術的側面に着目し、バスケットと地域の物質文化との関係を検討した。このバスケットはサバンナで培われてきたイネ科草本を巧みに加工する独特の技術のうえに生まれた商品であったこと、その技術が大量生産のための原料の転換や、現在の市場での広範な流通の礎となっていることを明らかにした。また、生産地域の内部で伝承される技術に差異があり、それはバスケット以前のものづくりの技術や歴史に影響されていることから、技術的な変化は市場との接合によっても一様には起こらないと指摘した。</p>			

第5章では、人びとがどのようにして編み手になり、生産にたずさわっているのかを事例にもとづいて分析した。バスケット生産には、世帯の生計戦略や、社会的役割、技術習得の意欲が異なる多様な村人が参入しているが、あくまでも「余剰」の時間や労力をふりむけるかたちで生産にたずさわっていることをあきらかにした。そして、編み手の「ばらつき」を当然とするような雰囲気や生産体制が、産業の裾野を広げ大量供給を可能としてきたこと、その裾野の広さが品質の底崩れを防ぐことに貢献してきたことを論じた。

第6章では、まずボルガ・バスケットには低価格・低品質から高価格・高品質までさまざまなバスケットに需要があり、それに応えるように編み手と仲買人の間で複数の取引方法が採用されていることを説明した。編み手は自身の必要や技術に応じて取引方法を自在に使い分けていたが、そのことはバスケットの集荷を不安定にする恐れもあった。そのため、仲買人の日々の商実践を検討して、彼らは編み手人数を積極的に増やすことによって個々の編み手の供給量のばらつきを均すとともに、対面的で対等な交渉によって異なる技術や経済事情をもつ編み手の協力を引き出そうとしていたことをあきらかにした。

第7章では、これまでの分析結果をとりまとめて、編み手が市場の変化によってもたらされた機会をうまく利用しながらも無理することなくこの地場産業にたずさわってきたこと、このような関わり方を許容する生産体制が産業の形成と維持に不可欠であったことを強調した。その体制で輸出個数を伸ばし、品質要件にも対応していくことが可能となったのは、生産者と企業とのインターフェイスとして機能する仲買人の集荷実践と、個別対面的な働きかけによることを主張した。以上をふまえて、ローカルな生産地社会とグローバルな消費市場の現代的な接合において、社会文化的・経済的な相違を理解しながらアクターを結びつけていくミドルマンのような存在がますます必要となっていくことを指摘した。また彼らの実践は、包摂・服従でも自律・対立でもなく、アフリカ小農社会が市場と「ほどほど」のつながりを維持することの重要性を示していると結論づけた。